

写 真 图 版



1. 調査前全景（南西→）



2. 第1号塚調査前（西→）



3. 第1号塚セクション（西側）（南→）



4. 第1号塚セクション（東側）（南→）



5. 第1号塚セクション（南北側）（東→）



6. 第1号塚人骨出土状況（北→）



7. 第1号塚完掘（東→）



8. 第2号塚調査前（西→）



1. 第2号塚セクション (南東→)



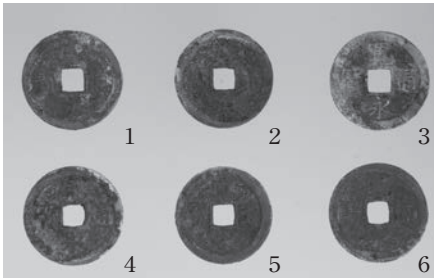
2. 第2号塚完掘 (東→)



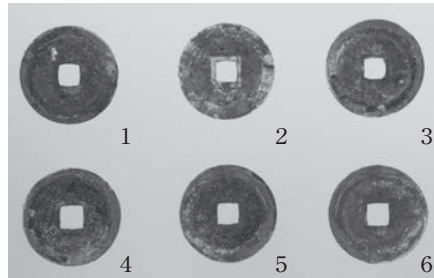
3. 第3号塚調査前 (西→)



4. 第3号塚セクション (東→)



5. 第1号塚出土銭貨 (表面)



6. 第1号塚出土銭貨 (裏面)



7. 第1号塚出土遺物



8. 墓石1 (西→)



9. 墓石2 (西→)



10. 墓石3 (西→)



1. 墓石4 (西→)



2. 墓石5 (西→)



3. 墓石6 (西→)



4. 墓石7 (西→)



5. 墓石8 (西→)



6. 墓石9 (西→)



7. 墓石10 (南西→)



8. 墓石11 (南西→)



9. 墓石12 (南西→)



1. 墓石 13 (西→)



2. 墓石 14 (北→)



3. 墓石 15 (北→)



4. 墓石 16 (北西→)



5. 墓石 17 (西→)



6. 墓石 18 (西→)



7. 墓石 19 (南→)



8. 墓石 20 (西→)



9. 墓石 21 (北→)



1. 墓石 22 (北→)



2. 墓石 23 (北→)



3. 墓石 24 (北西→)



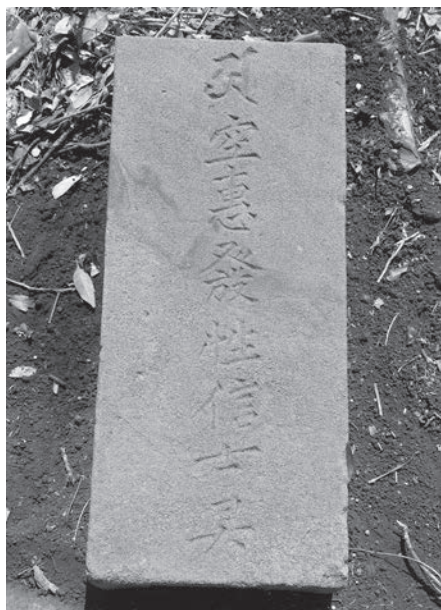
4. 墓石 25 (西→)



5. 墓石 26 (西→)



6. 墓石 27 (北西→)



7. 墓石 28 (北西→)



8. 墓石 29 (北→)



9. 墓石 30 (北→)



1. トレンチ検出状況（東→）



2. トレンチ北側セクション（南→）



3. 畦畔（北側セクション）（南西→）



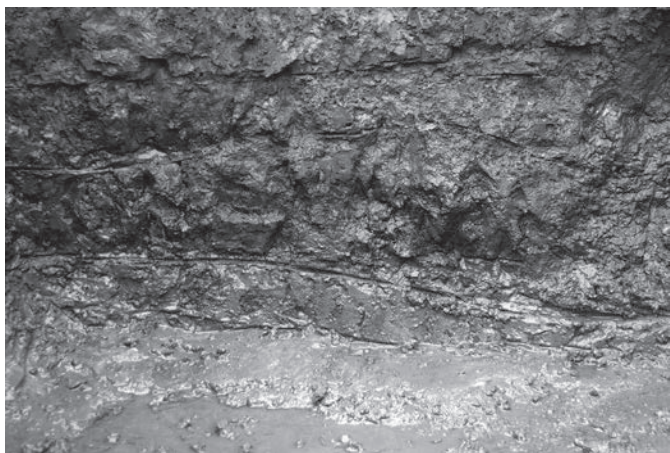
4. トレンチ南側セクション（北→）



5. 畦畔（南側セクション）（北→）



6. トレンチ西側セクション（東→）



7. 畦畔（西側セクション）（東→）



8. 作業風景（東→）



1. 第3号墳調査前（南→）



2. 第3号墳1トレンチ（南西→）



3. 第3号墳1トレンチ周溝確認状況（南→）



4. 第3号墳2トレンチ（南→）



5. 第3号墳2トレンチ周溝確認状況（南→）



6. 第3号墳2トレンチ周溝内土壌確認状況（北西→）



7. 第3号墳2トレンチ鉄製品出土状況（南西→）



8. 第3号墳2トレンチ調査状況（南→）



1. 第4号墳調査前（南→）



2. 第4号墳トレンチ（南→）



3. 第4号墳トレンチ（北東→）



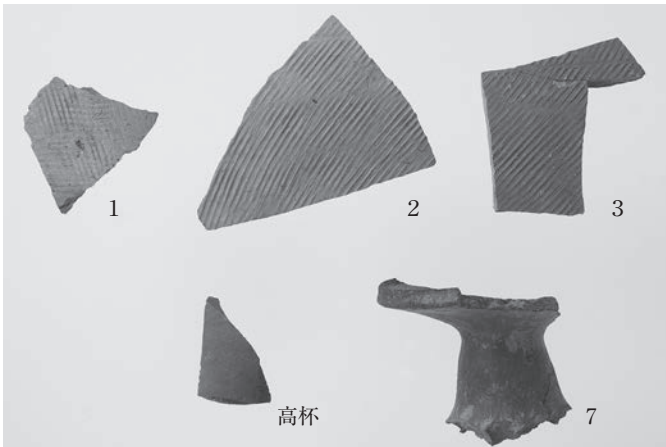
4. 第5号墳調査前（西→）



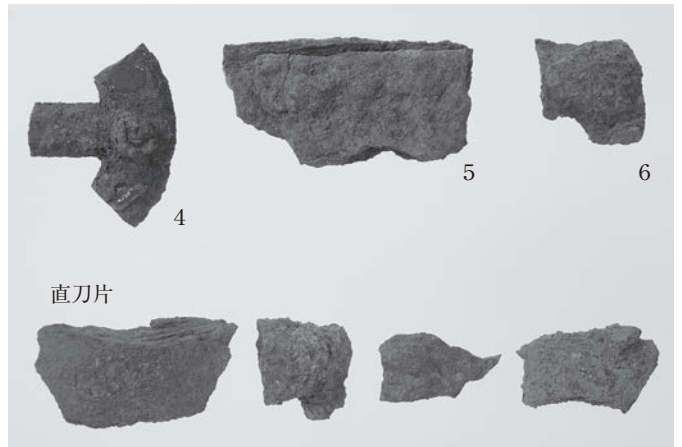
5. 第5号墳トレンチ（北東→）



6. 第5号墳トレンチ周溝確認状況（北東→）



7. 土師器・須恵器



8. 鉄製品



1. 調査範囲から北東方向の谷を臨む（南西→）



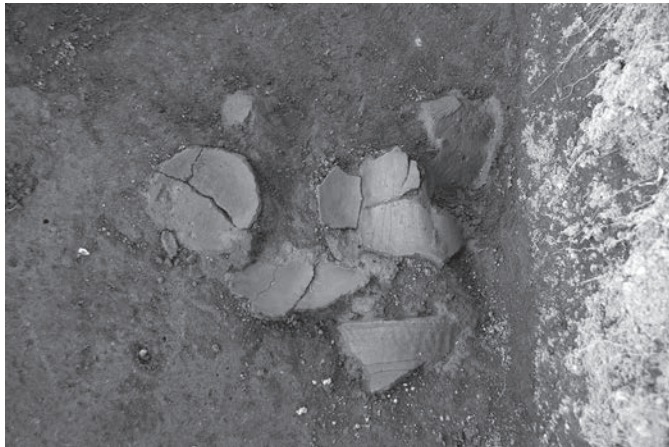
2. 2トレンチ貝層検出状況（南→）



3. 2トレンチ縄文土器出土状況（南→）



4. 3トレンチ遺構検出状況（南→）



5. 3トレンチ弥生土器出土状況（南→）



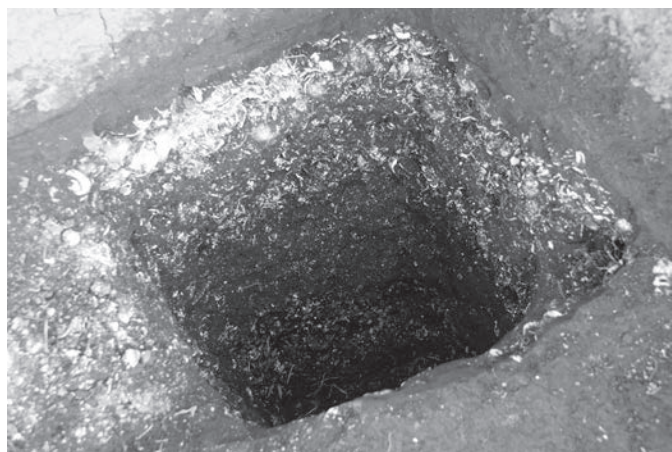
6. 4トレンチ遺構確認状況（南→）



7. 6トレンチ貝層検出状況（南→）



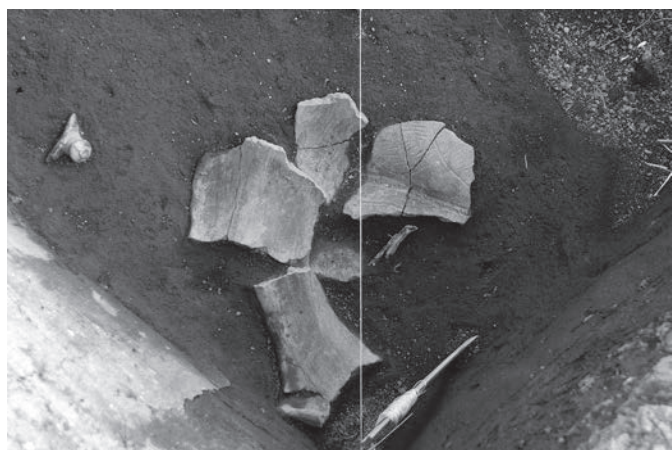
8. 6トレンチAサンプル イノシシ骨出土状況（南西→）



1. 6 トレンチAサンプル貝層断面 (南→)



2. 11 トレンチ遺構検出状況 (南→)



3. 12 トレンチ縄文土器出土状況 (北西真上→)



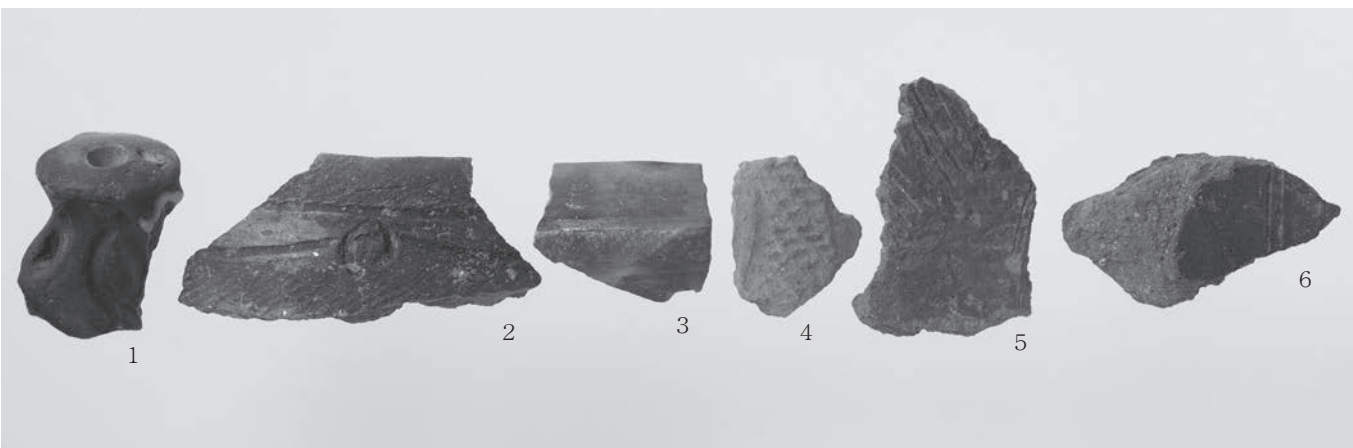
4. 13 トレンチ シカ頭骨出土状況 (北→)



5. 17 トレンチBサンプル貝層断面 (北東→)



6. 20 トレンチ遺構検出状況 (南→)



7. 貝層サンプル出土土器

報告書抄録

ふ り が な	へいせいにじゅうななねんど そでがうらしないいせきはつつちょうさほうこくしょ							
書 名	平成 27 年度袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書							
編 著 者 名	大河原務（編）・田中大介・西原崇浩							
編 集 機 関	袖ヶ浦市教育委員会							
所 在 地	〒299-0292 千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1 番地 1 TEL 0438-62-2111							
発行年月日	2016 年 3 月 28 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
ほりこみ 堀込 だいいちごうつか 第 1 号塚 だいにごうつか 第 2 号塚 だいさんごうつか 第 3 号塚	ちばけんそでがうらし 千葉県袖ヶ浦市 かんのうあざほりこみ 神納字堀込 3,099-1、2	12229	SG117 SG118 SG119	35° 25' 42"	139° 58' 22"	20150507 ～ 20150608	136.25	記録保存 調査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
堀込 第 1 号塚 第 2 号塚 第 3 号塚	塚	近世	近世塚 2 基		近世銭貨、陶磁器、土製品	第 1 号塚は旧表土面を方形に、第 2 号塚は旧表土面を円形に整形後、盛土がされていた。第 1 号塚の埋葬施設からは六道銭が出土した。		
要約	第 1 号塚・第 2 号塚は塚墓であり、出土遺物等から 17 世紀後半～18 世紀前半に構築されたものであることが明らかとなった。第 3 号塚は堆積状況から、塚ではないことが判明した。塚周辺には墓石が並んでおり、主に塚構築後に他の場所から移設されたものの可能性が高い。							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
よこたごういせき 横田郷遺跡	ちばけんそでがうらし 千葉県袖ヶ浦市 よこたあざしゅくうしろ 横田字宿 後 2,682-1、2	12229	SG092	35° 23' 9"	140° 01' 07"	20151117 ～ 20151120	33／ 86.1224	試掘・確認 調査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
横田郷遺跡	包蔵地	中・近世	中・近世畦畔 1 条		陶磁器	北東－南東軸の畦畔が 1 条検出した。		
要約	過去の調査等から遺跡周辺は中世以降の条里水田内に位置することがわかっており、本調査においても畦畔が検出した。遺構に伴う出土遺物がなかったため、時期は不明である。							

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
うちこしきたうえはら 打越北上原 こふんぐん 古墳群	ちばけんそでがうらし 千葉県袖ヶ浦市 うちこしあざきたうえはら 打越字北上原 360、366	12229	SG120	35° 22′ 35″	140° 01′ 21″	20160126 ～ 20160201	30／ 1, 130	保存目的 調査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
打越北上原 古墳群	古墳	古墳時代	前方後円墳 1 基 円墳 2 基	古墳時代土師器・須恵器・鉄製品	前方後円墳の打越北上原第 3 号墳の周溝は幅約 6 m、深さ約 2.9 m であることが判明した。第 4・5 号墳は、古墳であることが明らかとなり、円墳であることが考えられる。			
要約	打越北上原第 3 号墳は、幅 6 m にも及ぶ広大な周溝を有する前方後円墳であることが明らかとなった。さらに、周溝には周溝内土壌 2 基が埋設されており、その周辺からは馬具片や直刀片などの鉄製品が点在していた。馬具は、市内で初の出土例になり、重要な発見となる。時期については、6 世紀後半と考えられる。今回の調査範囲内では、墳丘裾部から周溝堆積土上部に攪乱を受けていることも確認された。第 4・5 号墳は、円墳と推定されていたが、今回の確認調査により古墳であることが明らかとなったが、墳丘の状態は不良であった。							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
みやのこしかいつか 宮ノ越貝塚	ちばけん そでがうらし 千葉県 袖ヶ浦市 しもにつた あざみそのさき 下新田 字 未園崎 1, 923	12229	SG121	35° 25′ 11″	139° 59′ 46″	20160202 ～ 20160217	240／ 1, 822	保存目的 調査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
宮ノ越貝塚	貝塚	縄文時代	縄文時代中～後期貝層 1 箇所 縄文時代土坑 2 基 弥生時代住居 13 軒以上 奈良・平安時代住居 1 軒	縄文土器、縄文時代石器、弥生土器、古墳時代土師器・須恵器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中世陶磁器、近世陶磁器	調査範囲北半では縄文時代中～後期の貝層が良好に遺存しており、一方調査範囲南半では後世の造成を受けているものの、弥生時代後期～奈良・平安時代にかけての遺構が密に分布することが明らかとなった。			
要約	宮ノ越貝塚における初めての発掘調査である。調査範囲北半においては縄文時代中期～後期にかけての貝層が面的に遺存している可能性が明らかとなり、過去の分布調査と対比すると、馬蹄形貝塚の南限に相当することが明らかとなった。貝層サンプル採取箇所の所見から、上層に後期中葉加曽利 B 式期の貝層、下層に中期後半加曽利 E 式期～後期前葉堀之内式期の貝層が堆積している可能性が示唆された。 調査範囲南半では、近世以降と思われる造成を受けているものの、弥生時代後期～奈良・平安時代にかけての遺構が密に分布していることが明らかとなった。							

2016 年 3 月 18 日 印刷
2016 年 3 月 28 日 発行

平成 27 年度
千葉県
袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書

堀込第 1 号塚・第 2 号塚・第 3 号塚 横田郷遺跡 打越北上原古墳群 宮ノ越貝塚

発行 袖ヶ浦市教育委員会
千葉県袖ヶ浦市坂戸市場 1 番地 1
電話 0438-62-2111
印刷 大和美術印刷株式会社
千葉県木更津市中央 1 丁目 1 番 6 号
電話 0438-20-6661